

# 住信SBIネット銀行株式会社 個人投資家投資家向け説明会

 **NEOBANK** 住信SBIネット銀行

複数の金融企業の立ち上げ・収益化・成長の実績。



代表取締役社長

**円山 法昭**  
*Noriaki Maruyama*

- 1989年 東海銀行 入行
- 2000年 イー・ローン (現 SBI HD) 入社
  - 日本初のローン比較サイトの立ち上げに参画
  - 親会社の取締役として上場に貢献
- 2001年 グッドローン (現 アルヒ) 取締役
  - 日本初のモーゲージバンクを立ち上げ、日本にモーゲージバンク市場を創出
- 2003年 ファイナンス・オール (現 SBI HD) 取締役
- 2005年 グッド住宅ローン (現 アルヒ) 代表取締役社長
  - 2014年6月、上場後初値の4倍<sup>(1)</sup>でカーライルグループに売却決定
- 2014年 SBIホールディングス顧問 兼 住信SBIネット銀行代表取締役社長 (現任)

## 住信SBIネット銀行 社長就任後の実績

当期純利益を約3倍へ<sup>(2)</sup>

国内銀行で初のAPI<sup>(3)</sup>開放

国内初のBaaS事業<sup>(4)</sup>を開始

※1：韓国KOSPI市場における初値と公開買付価格を比較。当時の為替レートにより日本円へ換算して算出。

※2：代表取締役社長へ就任する直前の2014年3月期と2023年3月期の実績を比較。

※3：Application Programming Interfaceの略で、あるアプリケーションの機能や管理するデータ等を他のアプリケーションから呼び出して利用するための接続仕様・仕組みのこと。

※4：BaaSとは、Banking as a Serviceの略。当社では「NEOBANK」と呼称。

1. 2024年3月期中間期業績ハイライト P. 2~
2. デジタルバンク P. 9~
3. モーゲージ P. 15~
4. BaaS P. 19~
5. THEMIX P. 25~

1. 2024年3月期中間期業績ハイライト P. 2~
2. デジタルバンク P. 9~
3. モーゲージ P. 15~
4. BaaS P. 19~
5. THEMIX P. 25~

## 全体

経常利益

前年同期比 **+14.0%**

(163億円)

純利益<sup>(1)</sup>

前年同期比 **+28.2%**

(122億円)

## デジタルバンク

預金残高<sup>(2)</sup>

前年同期比 **+15.4%**

(8.6兆円)

貸出金残高<sup>(2)</sup>

前年同期比 **+22.9%**

(7.3兆円)

## BaaS

口座数<sup>(3)</sup>

前年同期比 **+103.3%**

(108.7万口座)

経常利益

前年同期比 **+375.7%**

(16億円)

注：特に記載のない限り、データは連結ベース。金額は掲載単位未満切り捨て。

※1：純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益。

※2：単体ベース。

※3：提携パートナーの専用支店を通じて獲得した口座数の合計。

経常利益は前年同期比 +14.0%の163億円、純利益は同 +28.2%の122億円。  
 総資産は住宅ローンの増加を主因として同年3月末比 +10.2%の9兆5,613億円。

## 損益の状況

(億円)	FY23/3 上期	FY24/3 上期	前年同期比	
			変化	変化率
業務粗利益	299	338	38	+12.8%
資金利益	200	211	11	+5.5%
役務取引等利益	70	90	19	+27.5%
その他業務利益	28	36	7	+27.0%
営業経費 (▲)	153	173	19	+12.9%
経常利益	143	163	20	+14.0%
うち BaaS事業	3	16	13	+375.7%
純利益	95	122	26	+28.2%

## 資産負債の状況

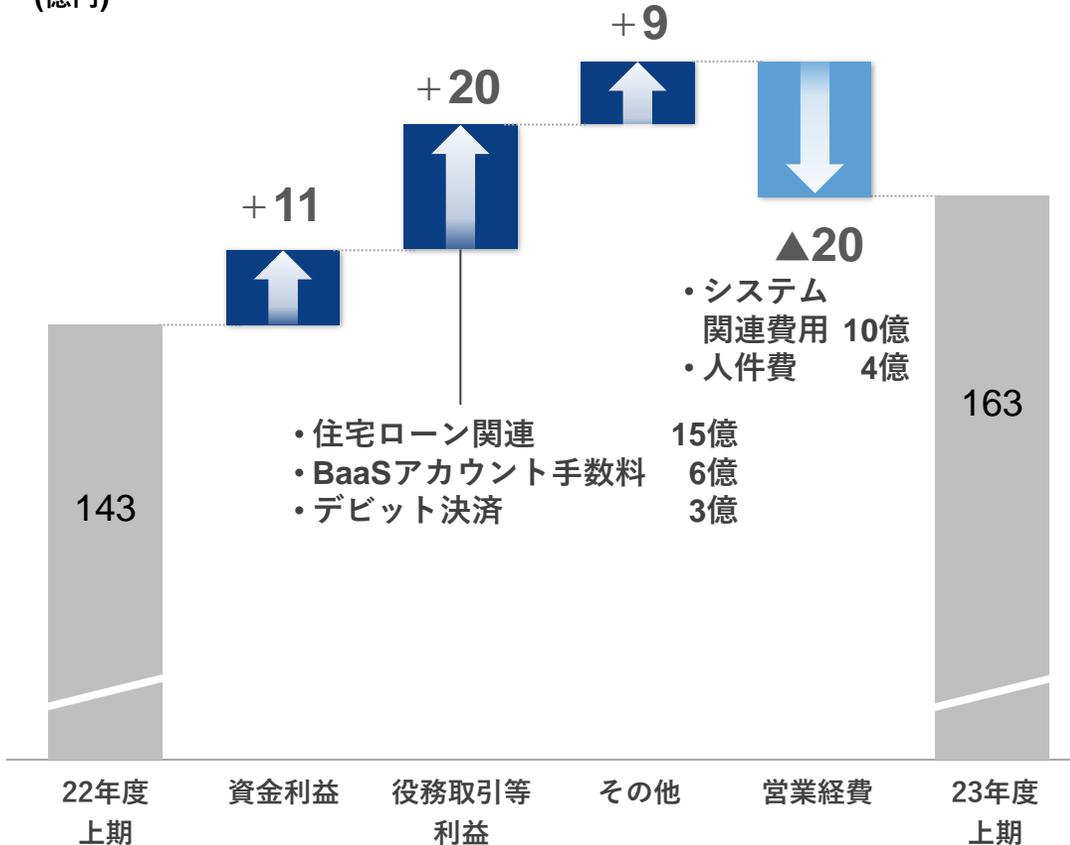
(億円)	23/3	23/9	3月末比	
			変化	変化率
総資産	86,790	95,613	8,823	+10.2%
有価証券	5,587	5,427	▲160	▲2.9%
貸出金	65,948	73,644	7,695	+11.7%
住宅ローン	53,185	58,923	5,738	+10.8%
負債	85,473	94,232	8,759	+10.2%
預金	79,754	86,390	6,635	+8.3%
純資産	1,316	1,381	64	+4.9%

注：純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益。

経常利益は資金利益、住宅ローン関連やBaaSアカウント手数料等の役務取引等利益が増加。  
 純利益は経常利益、保証事業売却益等の特別損益が増加。

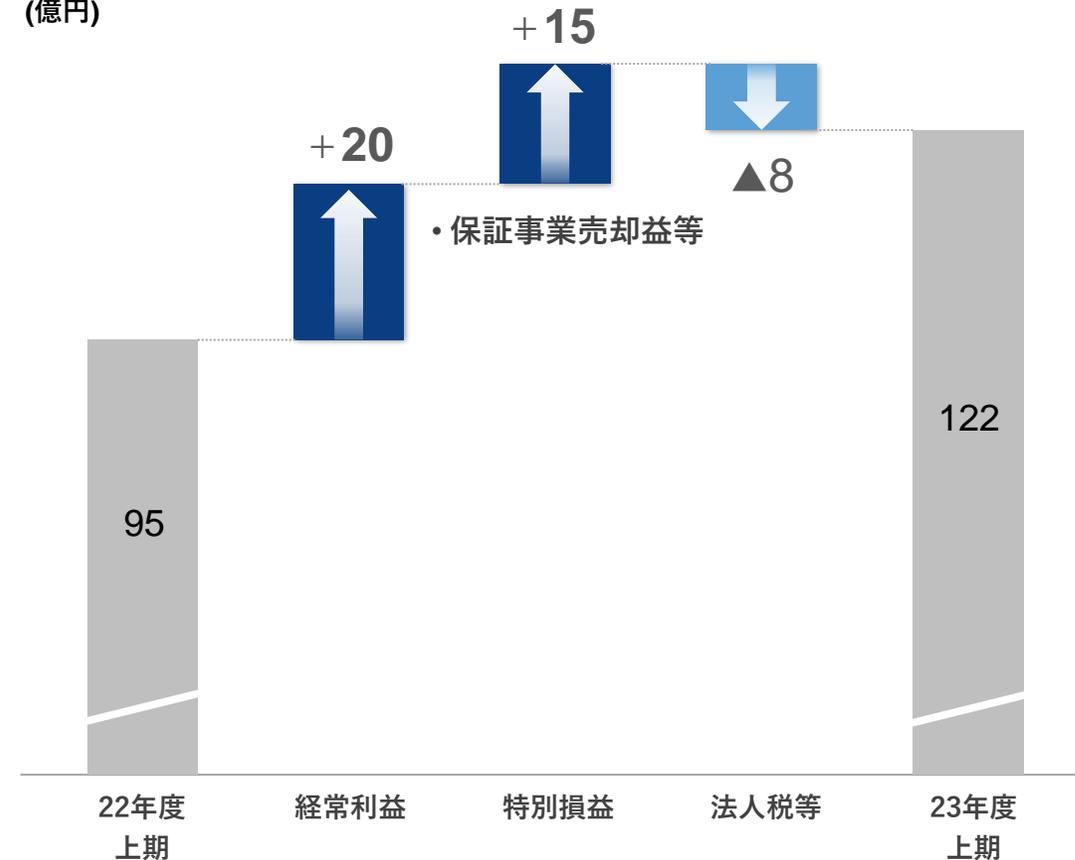
## 経常利益の状況

(億円)



## 純利益の状況

(億円)

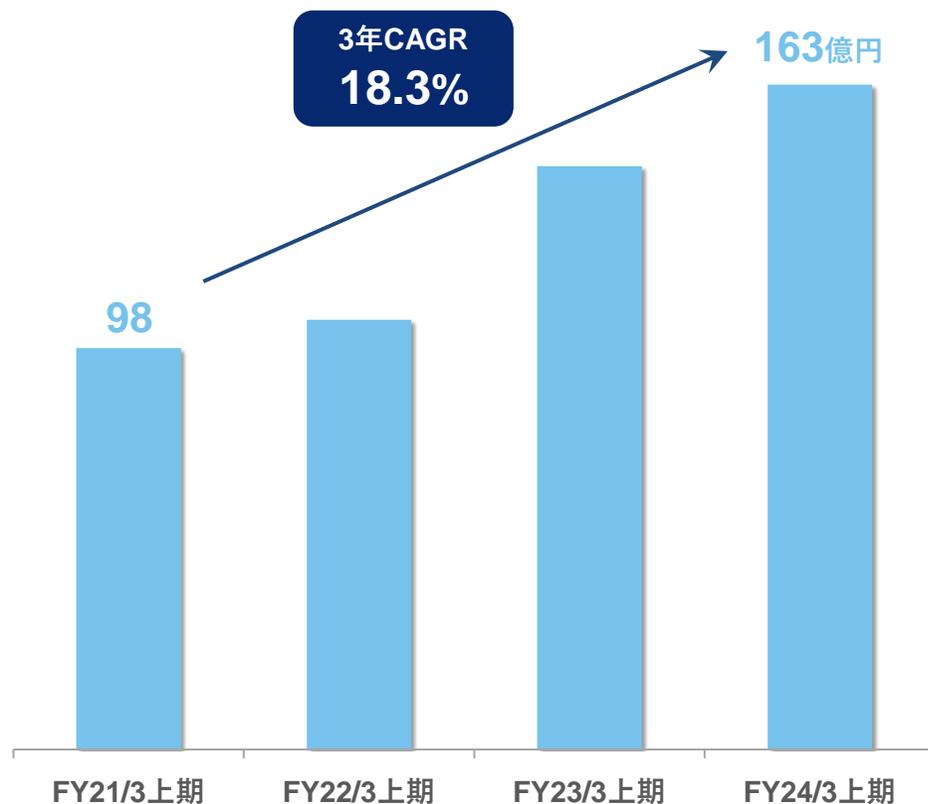


注：純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益。

経常利益は3年CAGR 18.3%、純利益は3年CAGR 21.9%の増加。

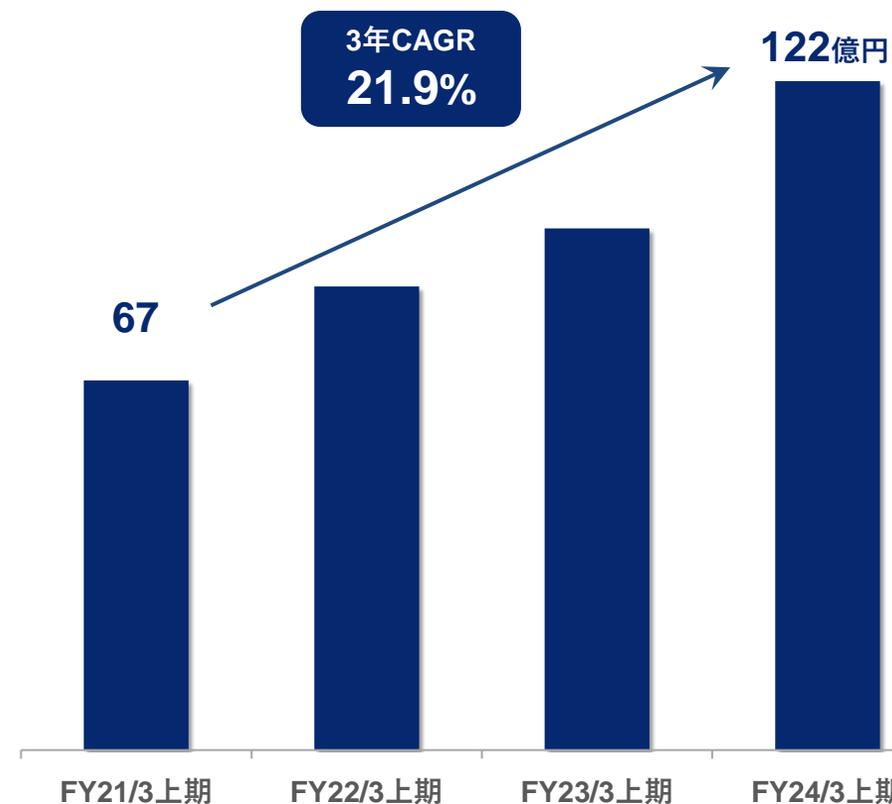
## 経常利益

(億円)



## 純利益

(億円)



注：純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益。

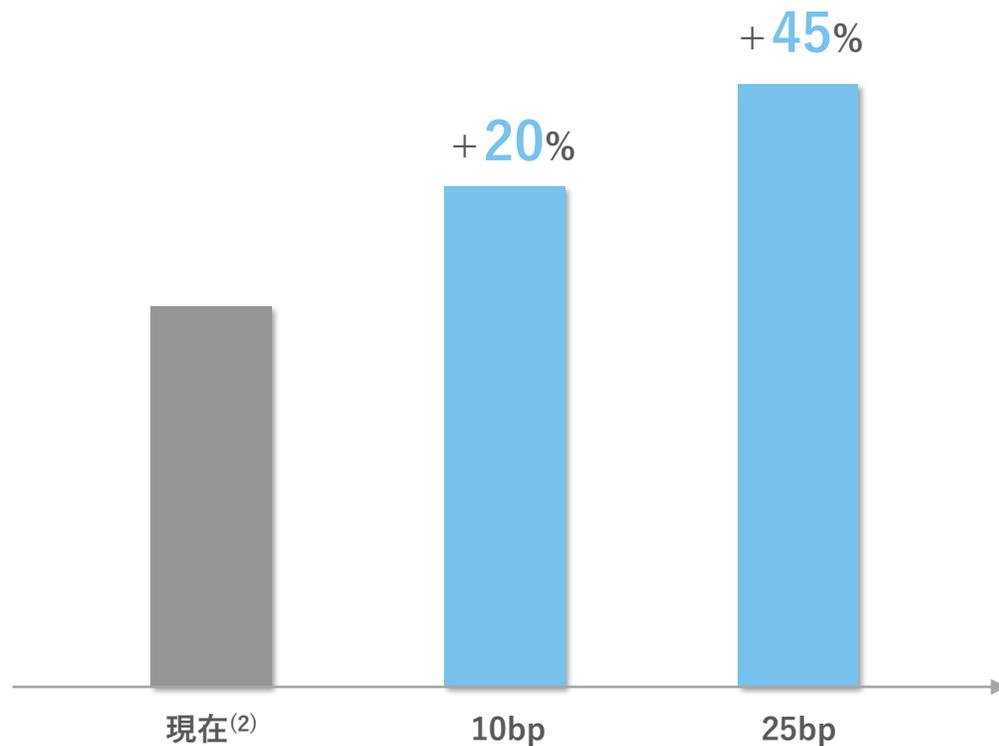
ROE20%を目標に、企業価値を向上させることで株主の皆さまに還元。  
一定の内部留保によって財務規律を維持しつつ、安定的な株主還元を意識した上で、自己資本の適性化の観点で余力があれば、配当する方針。

## 通常配当

(連結)	中間	期末	通期	配当性向
2022年3月期	0円00銭	0円00銭	0円00銭	0.0%
2023年3月期	0円00銭	0円00銭	0円00銭	0.0%
2024年3月期	7円50銭	8円00銭(予想)	15円50銭(予想)	10.0%(予想)

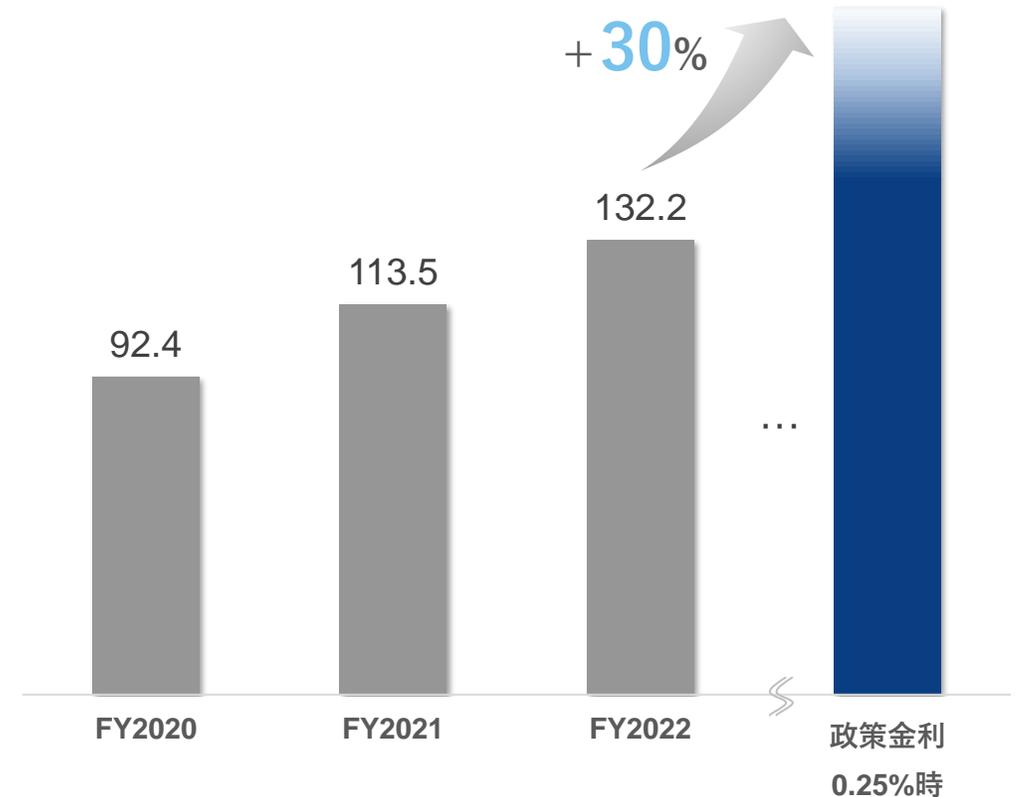
貸出金の大部分を占める住宅ローンの92%超は短期プライムレート連動。  
 ゼロ金利解除により政策金利が0.25%となれば、一定の仮定の下 EPSは30%上昇<sup>(1)</sup>と試算。

## 利益への影響度試算



## EPS

(円)

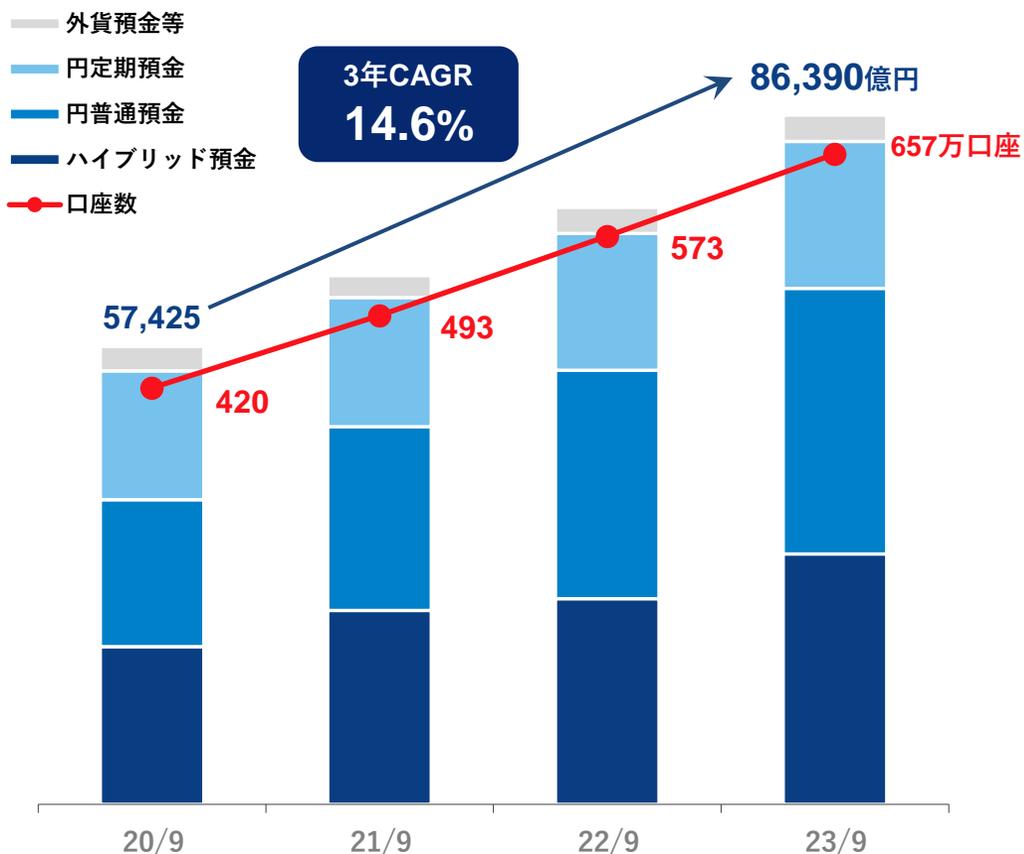


注：試算時に負債には市場金利追従率50%を仮定。短期プライムレートを含む資産には、市場金利追従率100%を仮定。  
 ※1：2023年3月期対比。政策金利0.25%時の試算。 ※2：2023年3月期。

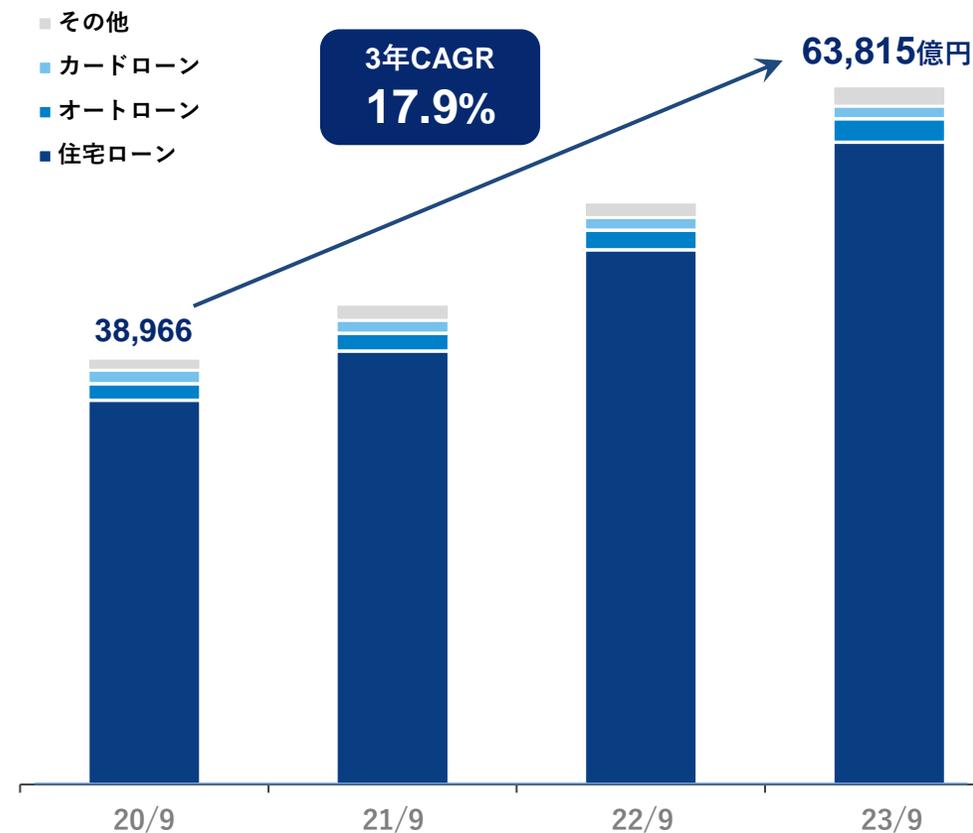
1. 2024年3月期中間期業績ハイライト P. 2~
- 2. デジタルバンク P. 9~**
3. モーゲージ P. 15~
4. BaaS P. 19~
5. THEMIX P. 25~

預金残高は前年同期比 +15.4%の8兆6,390億円。口座数は同 +14.6%の657万口座。  
貸出金残高は同 +20.1%の6兆3,815億円。

## 口座数と預金残高(1)



## 貸出金残高(2)



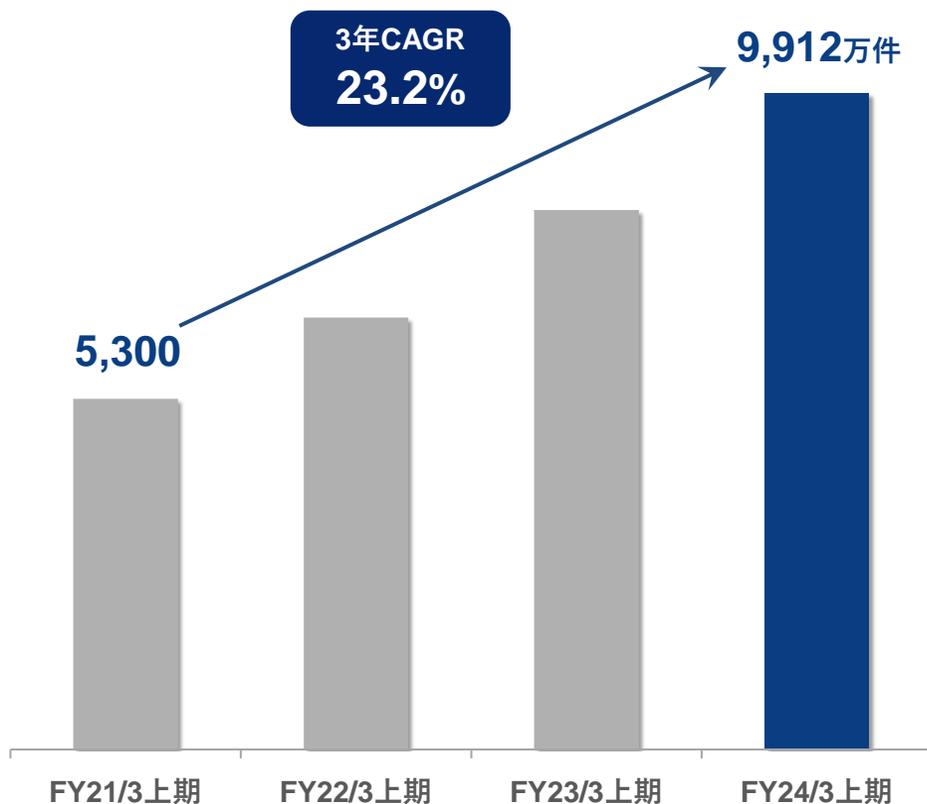
※1：口座数、預金残高は、デジタルバンク事業及びBaaS事業の合計。

※2：残高は、連結ベース。貸出金は、日本国政府向け貸出を除く。

決済件数は9,912万件、3年CAGRは23.2%。手数料等収益は順調に伸張。

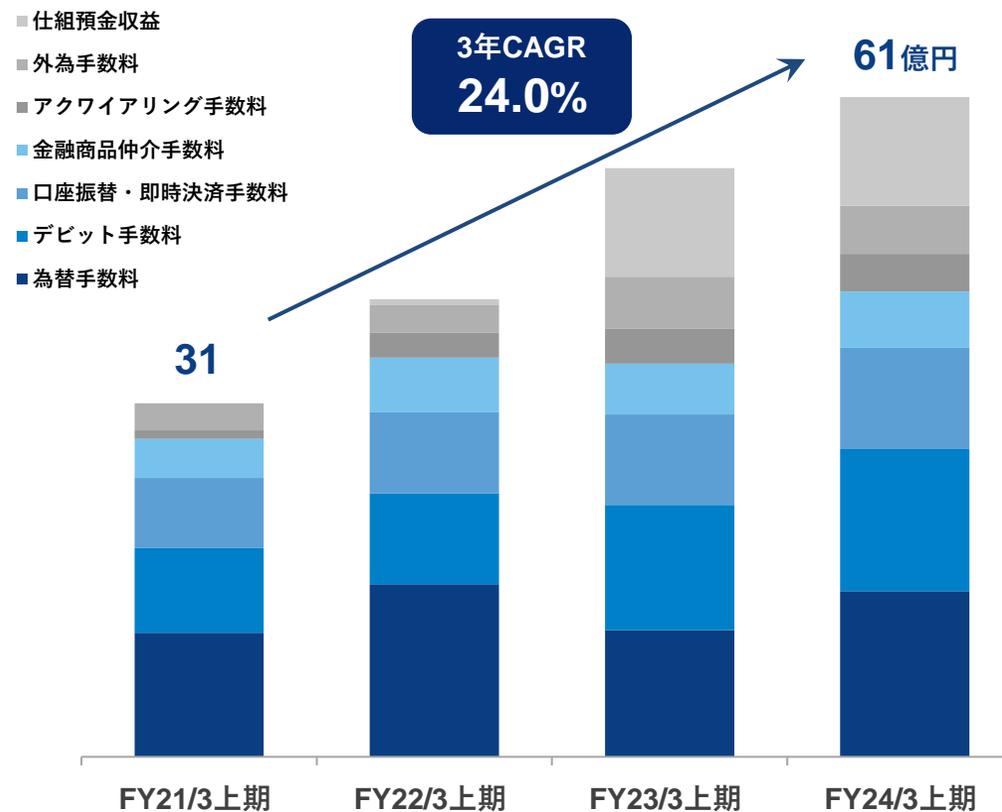
## 決済件数(1)

(単位: 万件、単体ベース)



## 主な手数料等 (住宅ローン関連・BaaSアカウント手数料を除く)

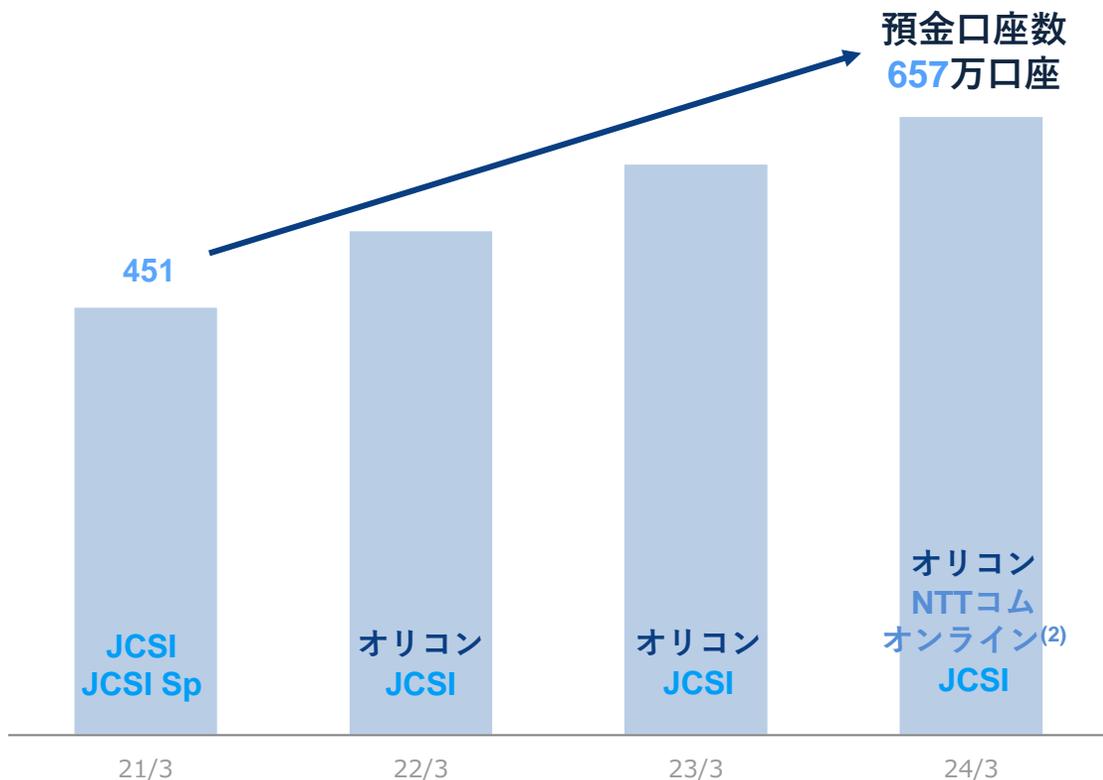
(単位: 億円、単体ベース)



※1: 当社全体 (デジタルバンク事業とBaaS事業の合計) で取り扱う決済 (総合振込/即時決済/口振、外貨送金/受取/外貨即時決済、即時口座振替、内国為替 (仕向/被仕向)、デビットカード、ミラインカード)、その他の合計件数。

お客さまにとっての安心と使い勝手のよさ、便利な機能を徹底的に追及。  
多数の評価機関で顧客満足度等第1位。

## 多数の外部評価から第1位を獲得



### 2023年6月

2023年 オリコン顧客満足度®調査  
「ネット銀行」第1位獲得



### 2023年8月

NTTコムオンラインNPS®(1)ベンチ  
マーク調査2023銀行部門 第1位獲得



### 2023年9月

2023年度JCSI（日本版顧客満足度指数）  
「銀行業種」調査第1位獲得



注：「オリコン」とは株式会社oricon MEよりオリコン顧客満足度調査 ネット銀行 総合第1位獲得を言う。「JCSI」とは公共財団法人 日本生産性本部サービス産業生産性協議会より、JCSI 銀行業種 第1位を獲得を言う。  
「JCSI Sp」は同JCSI 銀行（特別調査）業種 第1位を獲得。銀行（特別調査）とは主に借入・貯蓄・投資に関するサービスの利用者を対象とした調査。  
「NTTコムオンライン」はNTTコム オンライン・マーケティング・ソリューションより、NTTコム オンライン NPS®ベンチマーク調査 銀行部門 第1位獲得を言う。  
※1： Net Promoter®およびNPS®は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズ(現NICE Systems,Inc)の登録商標です。  
※2： 資産運用等の取引のある利用者に限ったNPS®ベンチマーク調査でも1位を獲得

## 強固なシステム運用管理体制

2023年8月、**邦銀初**となる**アマゾンウェブサービス(AWS)**マルチリージョン化を実現し、バックアップ機能を強化。さらなる業務継続性および安全性の確保を実現。



### セキュリティ対策

- 「**ゼロトラスト**」を踏まえた最新のサイバーセキュリティ強化策を採用

### 不正出金・口座不正利用対策

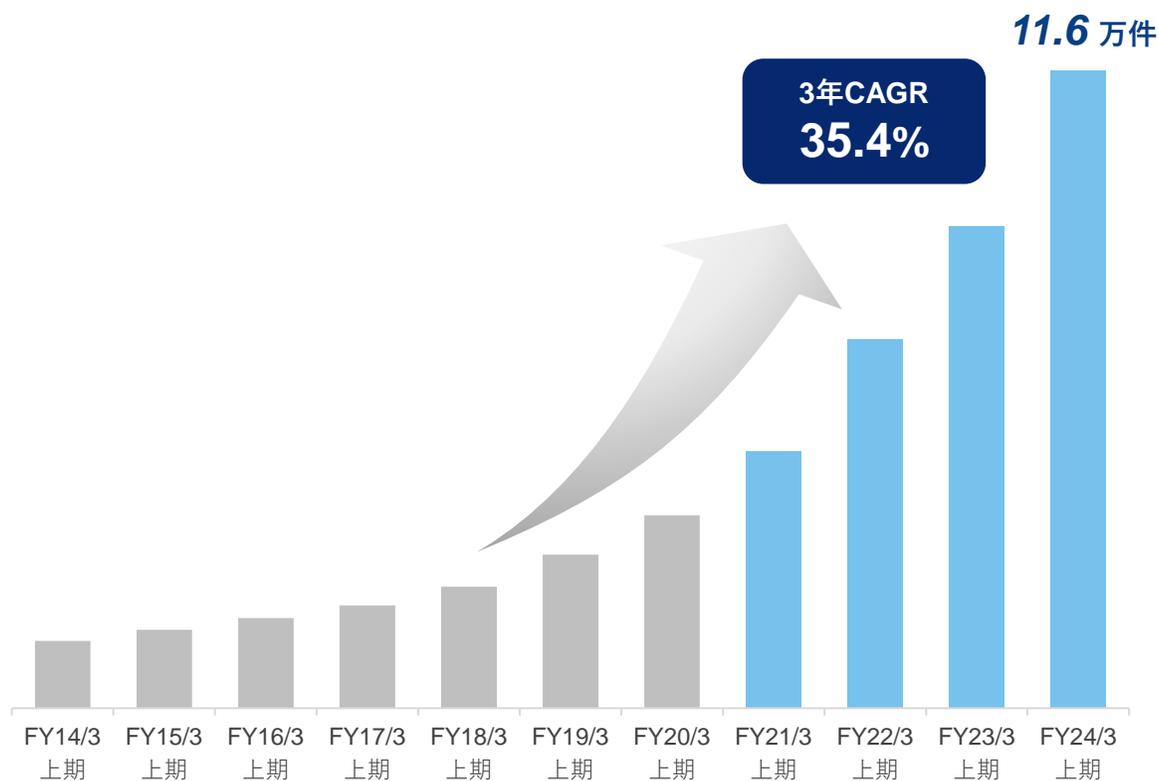
- 不正送金や不正引出への対策・口座売買の抑止や口座不正利用の防止対策実施

### 本人確認強化

- **FIDO**準拠生体認証システム「スマート認証NEO」提供

2023年4月に法人口座10万口座突破。2023年9月「企業のメインバンク調査」<sup>(1)</sup>にてメインバンク取引者数増加率**No.1**獲得。2023年10月より他行宛て振込手数料**業界最安値**<sup>(2)</sup>に改定。

## 法人口座数推移



## メインバンク取引者数増加

2023年「企業のメインバンク調査」  
メインバンク取引者数増加率

(前年比**39.1%**増)



法人アプリ画面



当社法人口座サービスの強み

- 口座開設スピード
- アプリの優れたUI/UX
- 利便性の高さ
- シンプルな融資審査

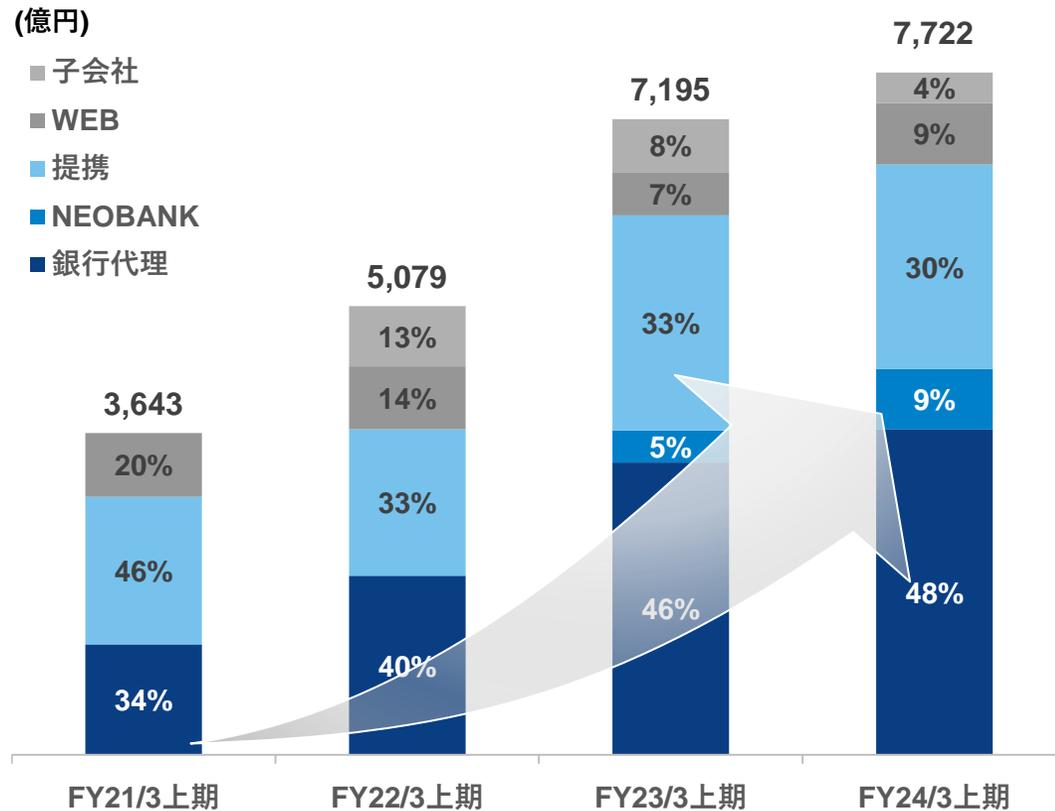
※1：2023年9月に実施された東京商工リサーチ調査による。156万8,602社を対象とする。

※2：2023年7月末時点、当社調べ。

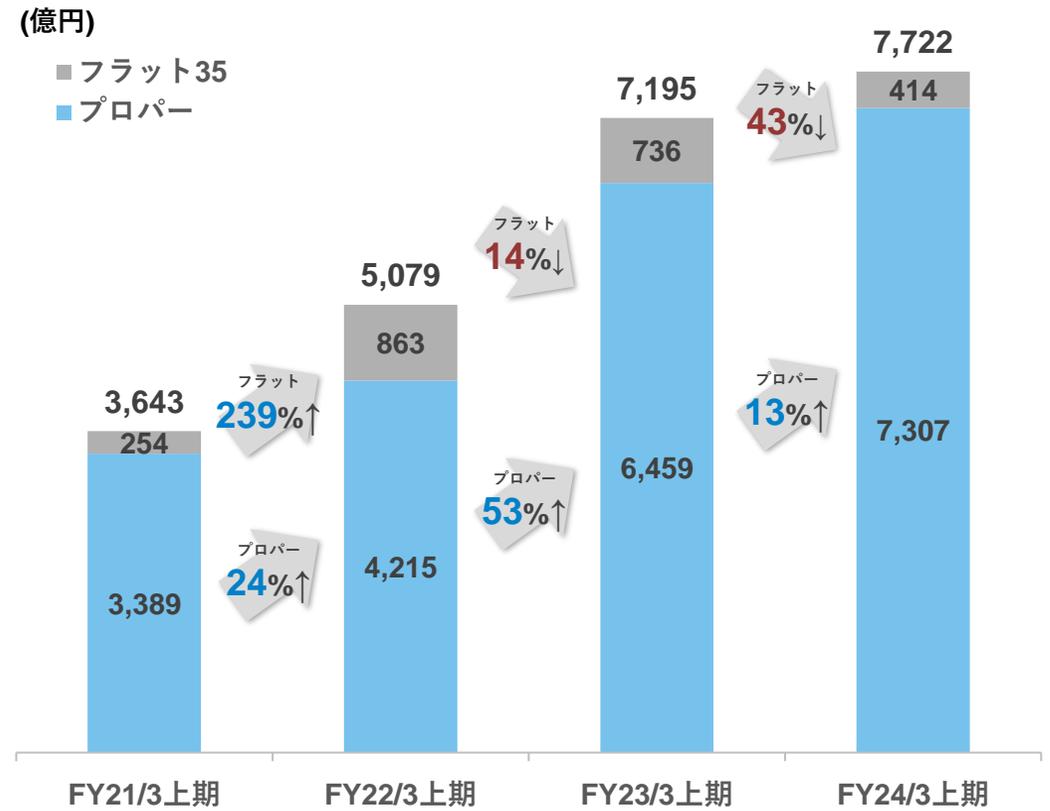
1. 2024年3月期中間期業績ハイライト P. 2~
2. デジタルバンク P. 9~
- 3. モーゲージ P. 15~**
4. BaaS P. 19~
5. THEMIX P. 25~

2023年10月住宅ローン実行額累計10兆円突破。チャンネル別では、銀行代理に加えてNEOBANKチャンネルからの実行額が伸びに貢献。フラット35が大幅に鈍化するが、プロパー商品の順調な拡大により続伸。

## 販売チャンネル別の実行額



## 商品別の実行額



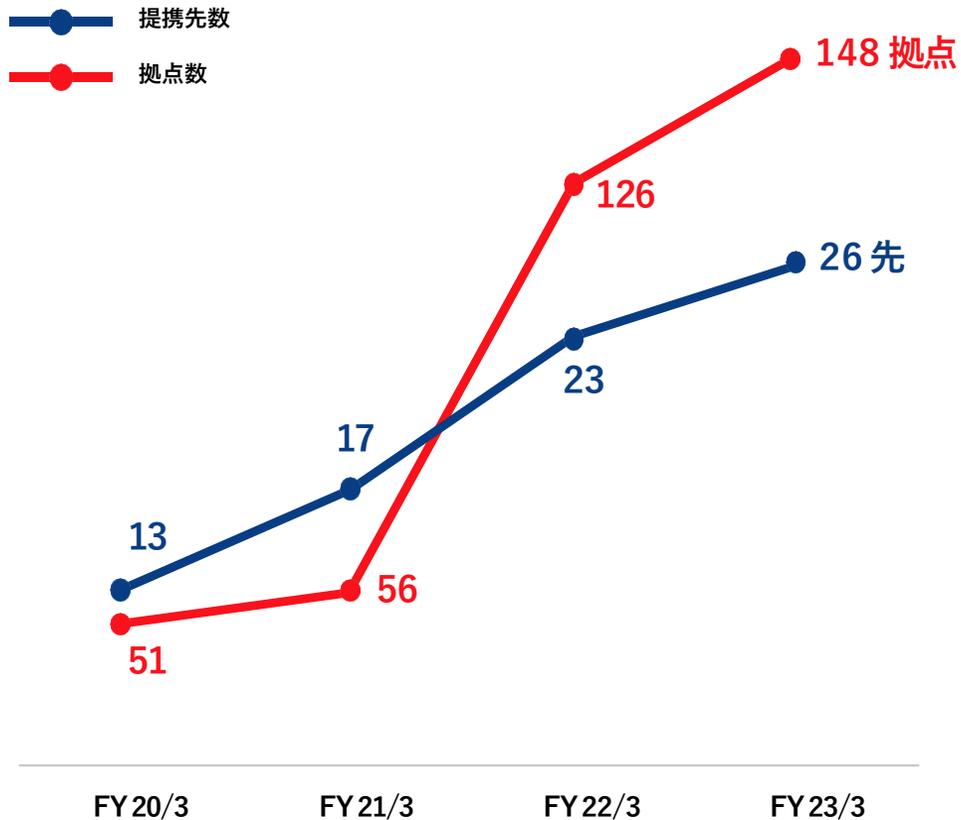
注：データは連結ベース。住宅ローン実行額は、各年度実績。金額は単位未満切り捨て。

プロパー：当社が販売する住宅ローン、当社が三井住友信託銀行の銀行代理業者として販売する住宅ローン、当社を所属銀行として銀行代理業者が販売する住宅ローン、及び優良住宅ローンにより組成された住宅ローンの融資実行額の合計。

フラット35：当社及び優良住宅ローンが販売するフラット35。

銀行代理業者が店舗を展開する「代理店モデル」により成長。  
2023年9月ARUHIと提携を発表。拠点数を500店舗とさらなる拡大へ。

## 提携先数/拠点数



注：データは連結ベース。銀行代理業者数は、住宅ローンを取扱う先数。拠点数は、当該銀行代理業者が当社のために銀行代理業を営む拠点数。  
※1：2023年3月末時点。

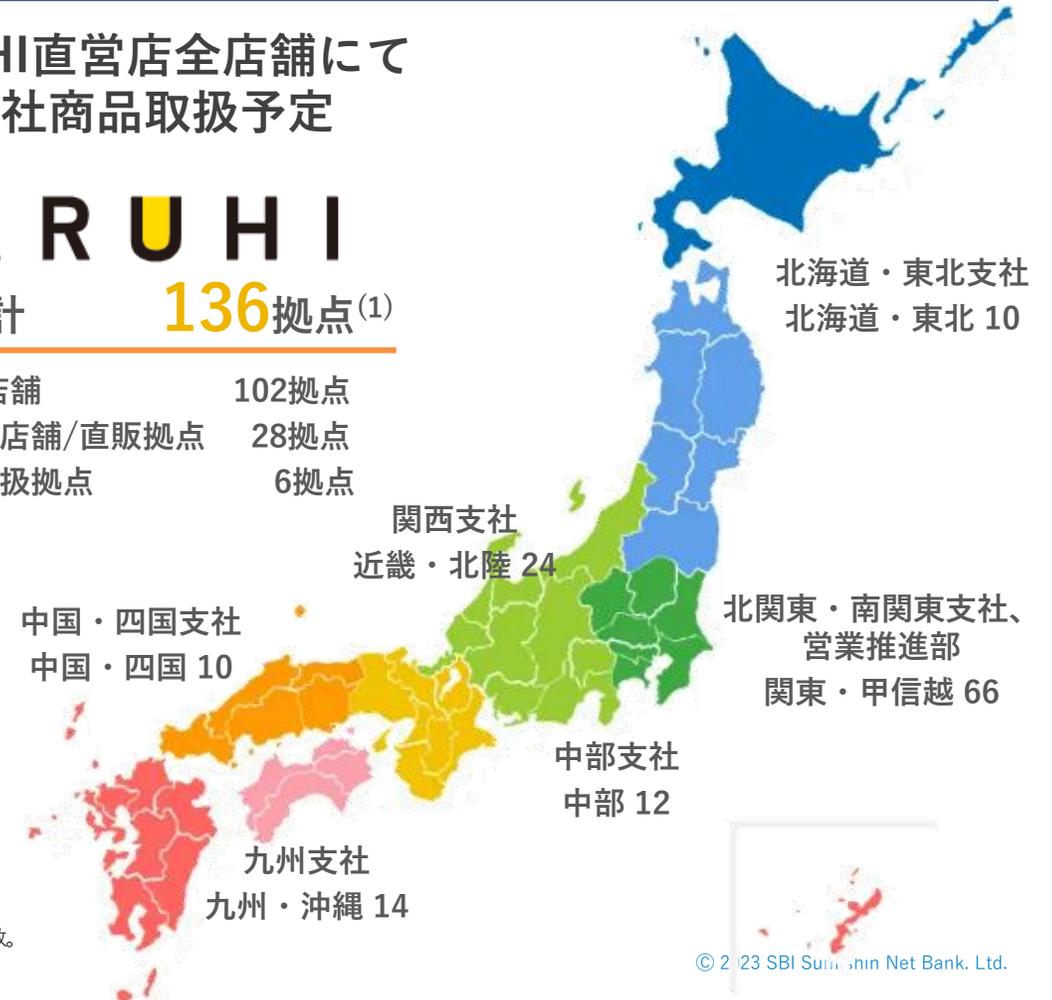
## ARUHI全国拠点網

ARUHI直営店全店舗にて  
当社商品取扱予定

# ARUHI

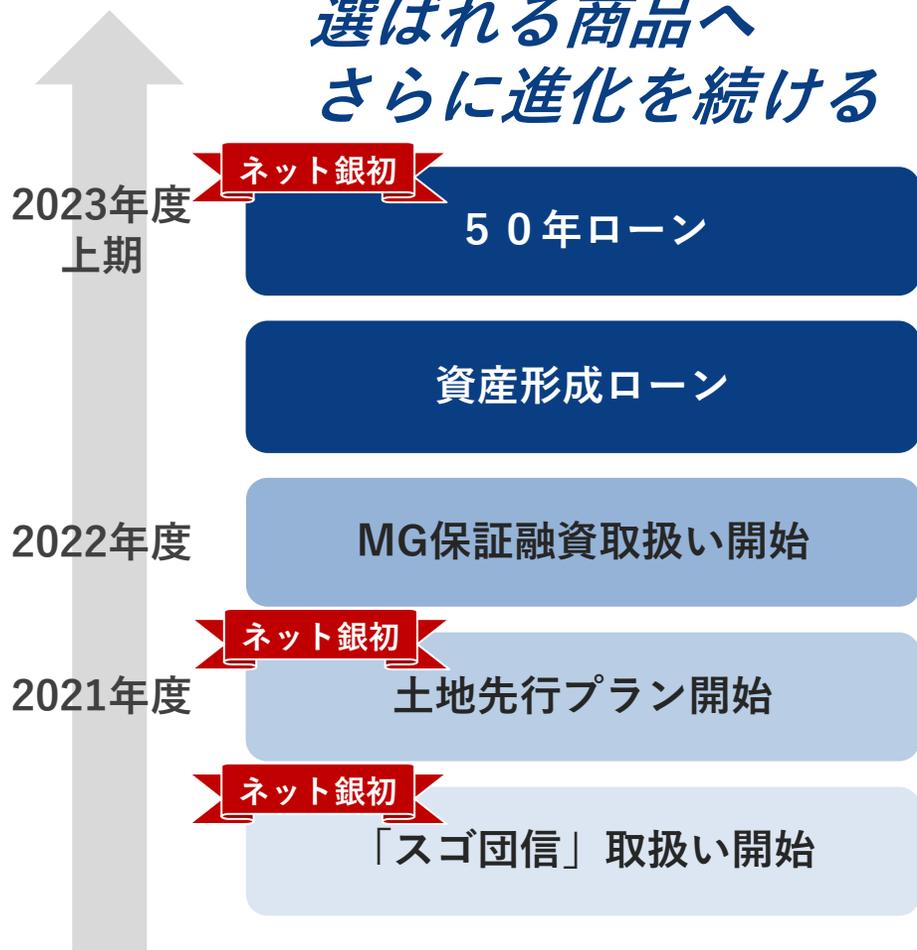
合計 **136**拠点<sup>(1)</sup>

FC店舗	102拠点
直営店舗/直販拠点	28拠点
他取扱拠点	6拠点



外部環境やモーゲージローン市場の変化に合わせ、さまざまなニーズに応えることができる革新的な商品を提供。

## 選ばれる商品へ さらに進化を続ける

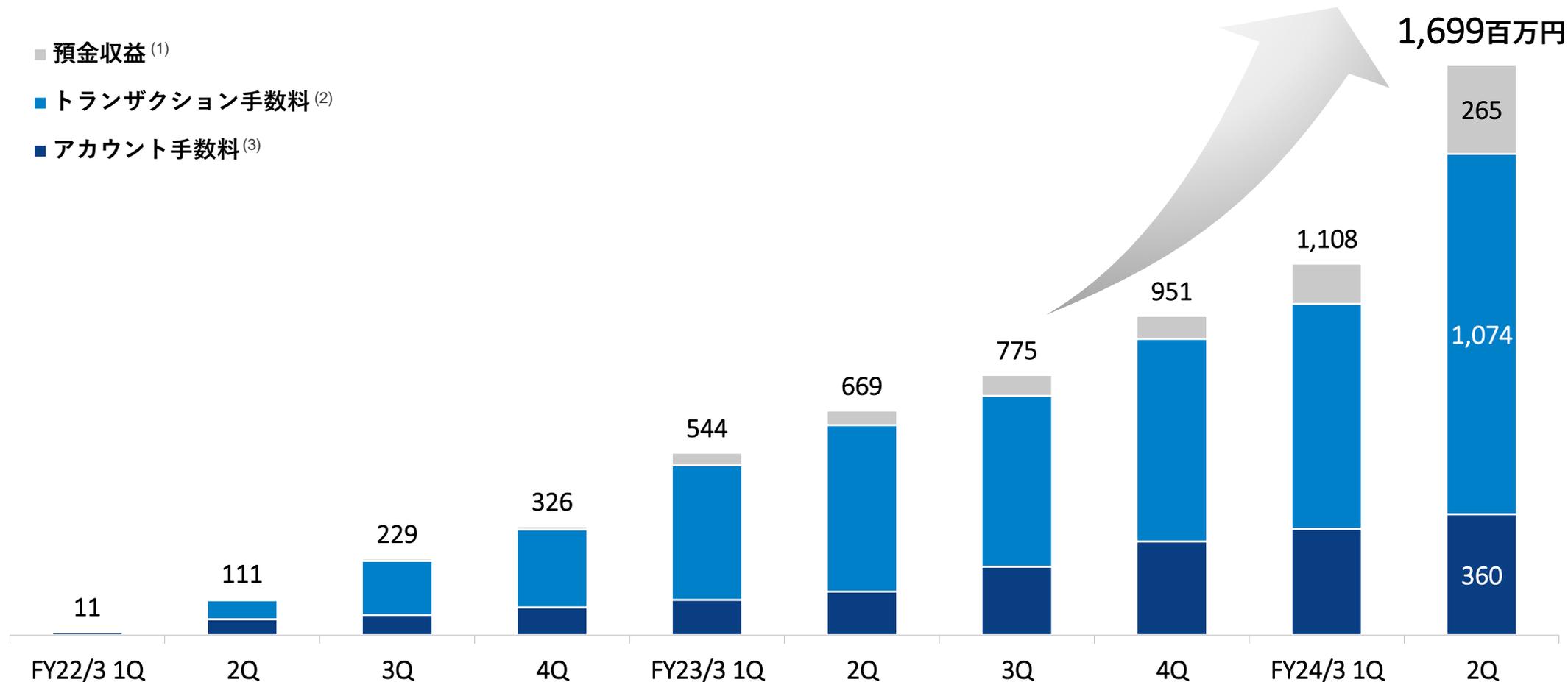


### 事業内容

- ネット銀行初、毎月の返済額の軽減・若年でもマイホームを持ちたいニーズに応える、借入期間について最長50年までの取扱いを開始
- ワンルームマンション不動産投資ローンの取扱いを開始。新たに投資用にワンルームマンションを購入されるお客さまへも当社ローンを提供
- 審査の通りづらいお客さまでもMG保証を活用し、これまでより幅広い層のお客さまへ住宅ローンをお届け
- ネット銀行初、1度の住宅ローン申込みでご融資実行時期の異なる2回のご融資が可能に
- ネット銀行初、通常の団体信用生命保険に加え、ガン診断時給付を含む3大疾病保障(50%)および全疾病就業不能保障を基本付帯

1. 2024年3月期中間期業績ハイライト P. 2~
2. デジタルバンク P. 9~
3. モーゲージ P. 15~
- 4. BaaS P. 19~**
5. THEMIX P. 25~

アカウント手数料・トランザクション手数料ともに提携企業増加により、飛躍的に増加。



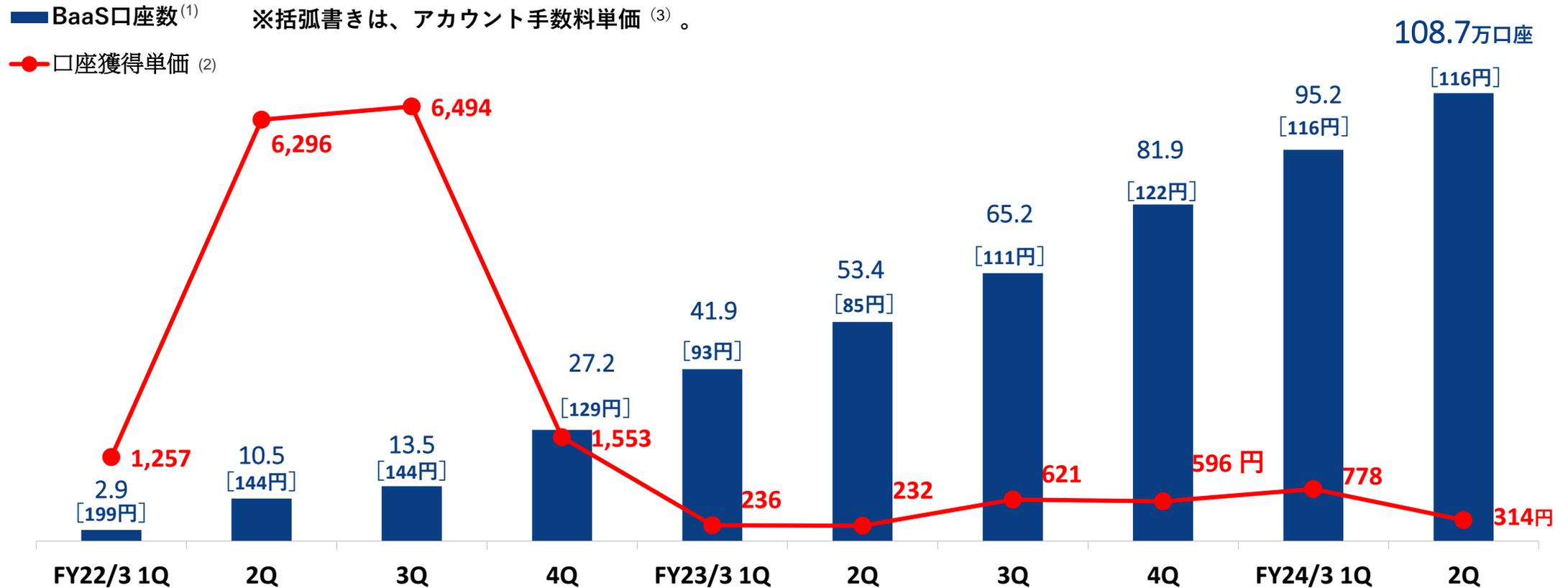
注：各四半期会計期間における実績を示す。管理会計上の数値であり、J-GAAPに基づく数値ではない。

※1：BaaS事業で獲得した預金は、当社全体として行うBSコントロールによって利益を生んでいるため、社内移転価格により預金量に応じた利益を配分をするもの。

※2：提携パートナーとレベニューシェアをした後のトランザクション手数料の合計。

※3：提携パートナーの専用支店を通じて獲得した口座にかかるアカウント手数料の合計。

BaaS口座数は2023年3月末比26.8万口座増の108.7万口座。  
口座獲得単価は適切にコントロール。



注：各四半期会計期間における実績を示す。管理会計上の数値であり、J-GAAPに基づく数値ではない。

※1：提携パートナーの専用支店を通じて獲得した口座数の合計。

※2：各四半期会計期間における平均単価。預金金利優遇やキャッシュバックキャンペーン等のセールスプロモーションに要した費用で構成。

※3：各四半期会計期間における、提携パートナー合算ベースの平均単価。

上場大手企業を中心に提携を拡大。提携ローンチ済み**15**社、提携合意済み**5**社。



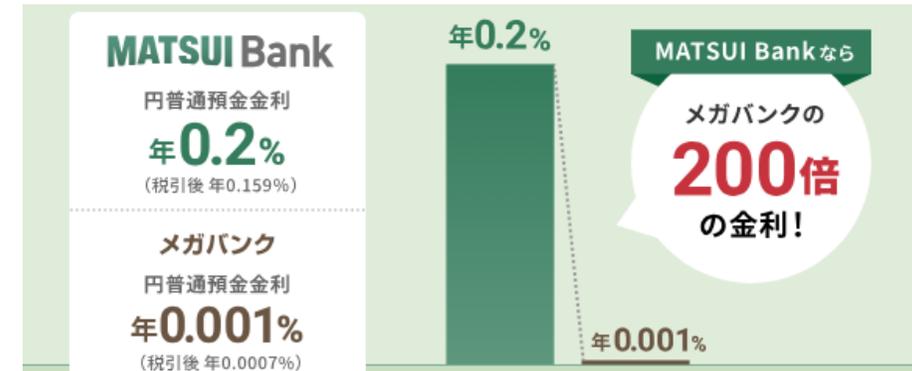
注：各企業データについてはP64注記をご参照ください。

2023年10月：ネット証券大手の松井証券 (約150万口座)<sup>(1)</sup>と連携し、松井証券のお客さまの利便性を強化。松井証券口座開設とMATSUI Bank口座の同時口座開設率は約60%<sup>(2)</sup>と好調なスタート。

## 顧客利便性を追求したアプリの連携



## MATSUI Bankならではの好金利<sup>(3)</sup>

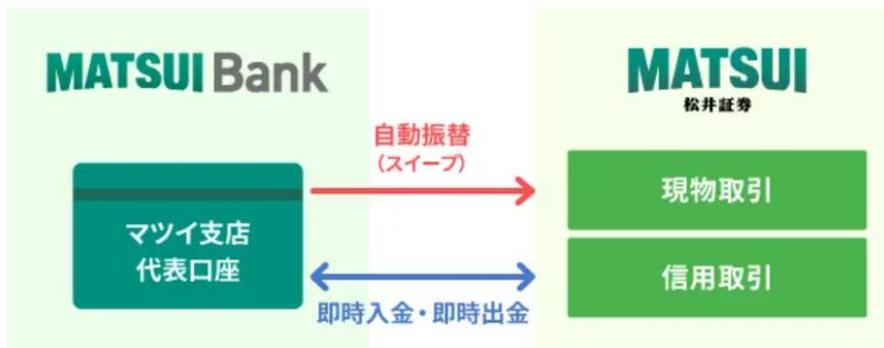


投資していない待機資金もお得に利息が受け取れる

## ◆ デビット決済で、松井証券ポイントが1%貯まる



貯まった松井証券ポイントはPayPayポイントやdポイント、Amazonギフトカードや3,000種類以上の商品との交換、または対象の投資信託の積立に利用できる



※1: 2023年10月末時点、※2: サービス開始～2023年10月末時点での松井証券口座・MATSUI BANK口座同時口座開設率。

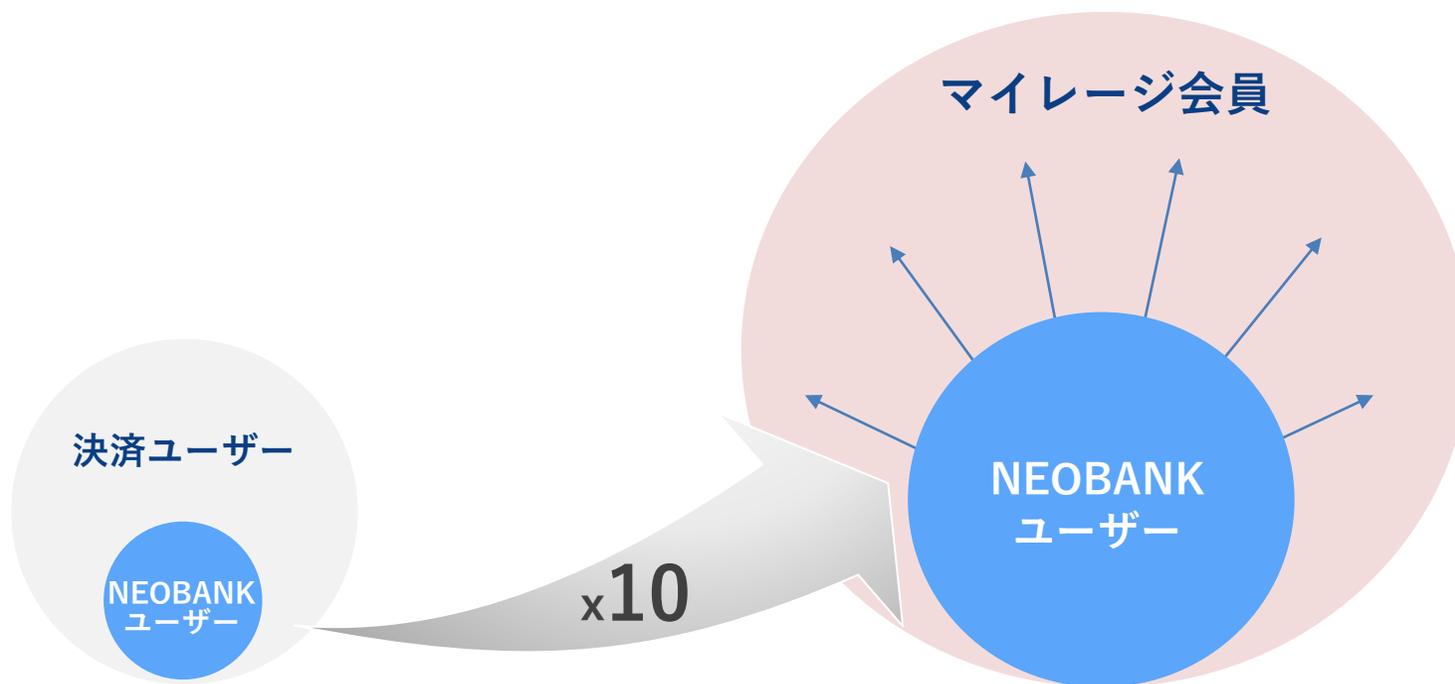
※3: 2023年11月1日時点

2023年11月7日 JALマイレージバンクアプリローンチ。決済ユーザーからマイレージ会員への対象顧客拡大により、マイレージバンク会員3,000万人<sup>(1)</sup>へのリーチを強化。

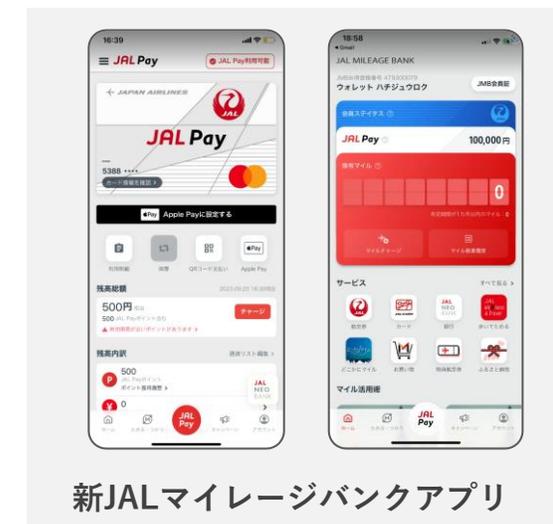
NEOBANKユーザー数**10**倍を目指す

## アプリ統合前

## アプリ統合後



JALマイレージバンクに決済機能を組み込み。マイレージ会員機能、バーチャルカード発行によるカードレス化、タッチ決済開始



出典：JALマイレージバンクHP

※1：2020年3月末時点のJALマイレージバンク保有会員数。

1. 2024年3月期中間期業績ハイライト P. 2~
2. デジタルバンク P. 9~
3. モーゲージ P. 15~
4. BaaS P. 19~
- 5. THEMIX P. 25~**

『テクノロジー×金融』で、  
林業DX・林政DX・カーボンクレジット事業を通じカーボンニュートラルを実現。  
国内のマーケットシェア10%を目指す。

## 世界市場

カーボンクレジット市場：  
2030年に**25兆円**<sup>(1)</sup>

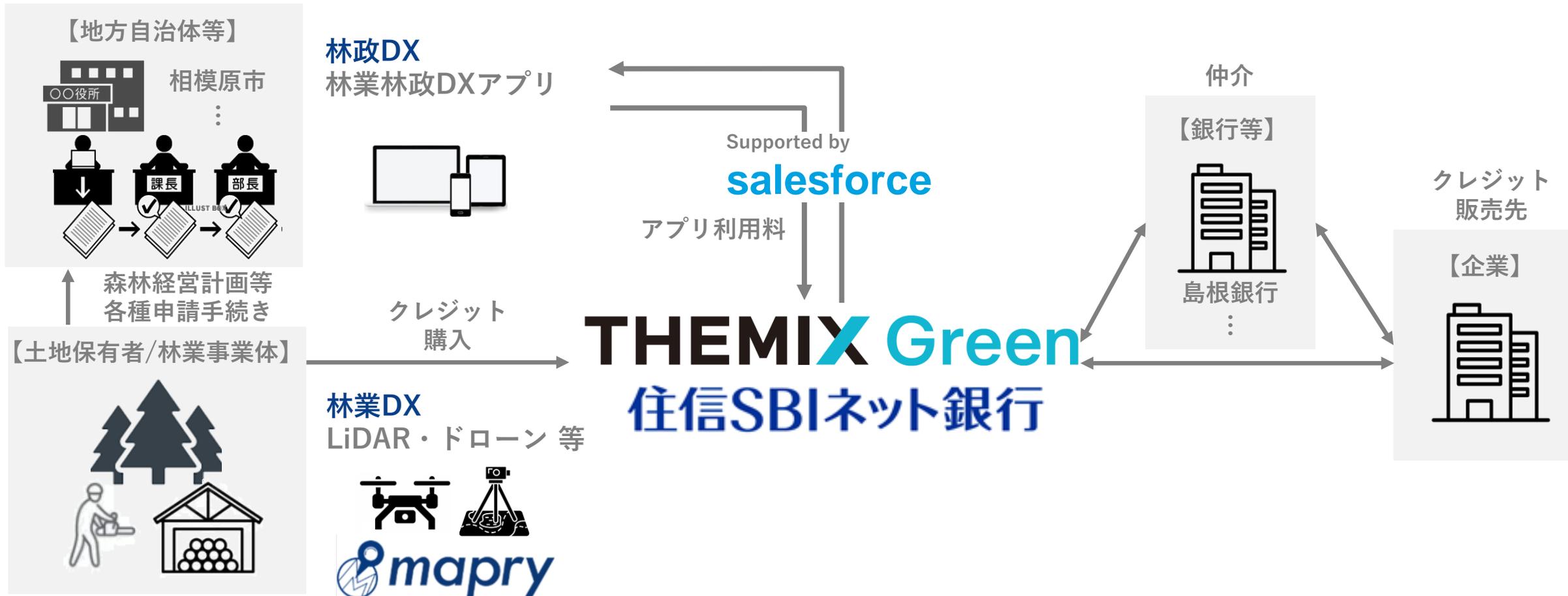
## 国内市場

森林 (カーボンクレジット換算)：  
**1兆円**<sup>(2)</sup>

※1：GIC・EDB・マッキンゼー「ネットゼロ実現に向けた炭素市場の活性化のために」

※2：国内森林2,505万haについて算出

林政、林業DXからカーボンクレジット市場創出をワンストップで行う、  
世界初のプラットフォームを構築する。  
地方自治体・銀行との連携を進め、年度内には10団体との提携を目指す。



注：サービスローンは来年度中を予定。

